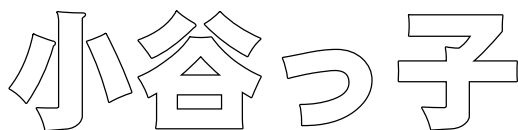


学校だより 4月号

平成30年4月10日
鴻巣市立小谷小学校



TEL 048 (548) 1004
FAX 048 (547) 1467
URL <http://koya-e.konosu.ed.jp>
e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

学校で勉強する意味 ～人とのふれあいが自分を成長させる～

校長 池澤 道弘

荒川の堤防が菜の花で黄色く染まり、希望に満ちた春が訪れました。

このたび渡辺校長先生の後を受け、小谷小学校の校長となりました。縁あって本校にお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

9日には着任式・始業式があり、私の他に新しく4人の先生をお迎えしました。また、入学式では、今年度は新たに21名の新入生を迎え、全校児童112名で新学期をスタートすることができました。全教職員で、「汗きらきら・瞳キラキラ・生き生き小谷っ子」のスローガンのもと、学校教育目標である「夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成」を目指し、真摯に教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、平成30年度のスタートにあたり、始業式で子どもたちに次のような話をしました。

※一部抜粋

皆さんは「学校は何をすることか」と聞かれたら何と答えますか？ きっとほとんどの人が「勉強すること」と答えるでしょう。では、「なぜ学校に行って勉強するの？」と聞かれたら、何と答えますか？

実は、校長先生は先生になったばかりの頃、友達にこんなことを聞かれました。「あと十何年立てば、21世紀がやってくる。21世紀は科学が発達して、テレビ電話のようなものができるかもしれない。そうなったら学校へ行かなくても勉強できるから、学校で勉強する意味がなくなるのではないか。」

恥ずかしい話ですが、校長先生はその時にはっきりと答えることができませんでした。

そして、時は流れ、その21世紀がやってきました。今は、インターネットが発達し、日本だけでなく世界中で何が起きているかすぐ分かる時代になりました。また、漫画「ドラえもん」などに登場していたテレビ電話に近いものも現実に使われるようになりました。

でも今は、もし同じようなことを誰かに聞かれても、胸を張って「どんなに科学が発達しても、学校で勉強するのだ。」と言えます。学校での勉強は国語や算数などの学習だけではなく、友達をはじめ、先生方、地域の方など、たくさんの人と関わり合って生活していく中で、コミュニケーションの大切さ、他の人の良さ、社会の決まり、マナーなどを学んでいくのです。人と人が直接ふれあい、そこから学ぶことに、「学校で勉強する」大きな意味があります。

これから、新しい学年での新しい1年間が始まります。子ども達には、積極的に多くの人と関わり合って、自分を大きく成長させる1年にしていってほしいと願っています。

子どもは、「家庭で養われ、学校で学び、地域で育つ」と言われます。今後も家庭・地域のご支援をいただきながら、地域の宝である子ども達を育てていきたいと思っております。小谷っ子が人として豊かに成長できるよう、引き続きご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。